琉球病院 Monthly

独立行政法人
国立病院機構　琉球病院
National Hospital Organization RYUKYU Hospital

Vol.15
2014.March

発行者　琉球病院事務部長
藤田　博文

院　長

村上優（むらかみ・まさる）
1949年生まれ、
74年九州大学医学部卒業。
86年国立肥前療養所精神科医長。2002年国立肥前療養所臨床研究部長、
同年King's College London Institute of Psychiatry（司法精神医学研究所）長期研修。
2005年花巻病院臨床研究部長（併任）を経て、2006年琉球病院長に就任。
日本司法精神医学会理事、日本アルコール関連問題学会監事　NGOベシャワール会の副会長として活躍。

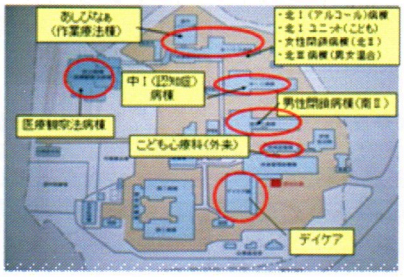
基本理念

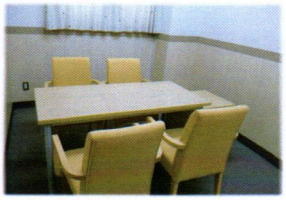
この病院で最も大切なひとは医療を受ける人である

心理療法士について

当院には心理療法士が12名常勤で勤務しています。そのうち３名が医療観察法病棟に専従で配置され、対象行為の振り返りや疾病教育など再犯防止に向けた取り組みを行っています。また、１名がデイケアに専従し、R-ACTチームの一員として地域での生活をサポートしています。その他のメンバーはアルコール病棟や児童思春期ユニット、認知症病棟、子ども心療科外来及び一般外来を兼務しています。心理療法士が担当する業務は主に心理検査や面接など個別アプローチのほか、疾病教育やSST、アンガーマネジメントなど、認知行動療法に基づく集団プログラムがあります。どの病棟（外来）においても、専門医療チームの一員として多職種と連携しながら業務を行っています（配置図参照）。
また、院内だけでなく、地域の多職種の方々と連携し、支援のあり方を検討するためにカンファレンスや研修会を定期的に開催しております。次回の研修会は3月5日（水）15:15～16:30『大人の発達障がいの理解』について当院研修棟１階こども広場で開催予定です。興味関心のある方はどうぞご参加下さい（事前申し込み不要）。

心理療法士の配置





主任心理療法士　野村　れいか

診療科

- 一般精神科
- こども心療科
- 物忘れ外来
- アルコール依存症等外来

病床数 406床

精神科病棟	181床
認知症	50床
アルコール	54床
児童思春期ユニット	4床
重症心身障がい	80床
医療観察法	37床

那覇市からのアクセス

●アクセス
路線バス／那覇BS(下り)または名護BS(上り)より沖縄バス「77番名護東線」浜田バス停下車徒歩3分
自 動 車／那覇市から40分
沖縄自動車道道金武インターから名護向け5分

トピックス

行事・出来ごと

●病棟等建替整備の動き
進捗状況　本体工事：請負業者　電気設備　・・・　(株)九電工
機械設備　・・・　(株)三建設備工業
建築(第１期)工事　・・・　平成26年3月25日（火）入札予定

教育・研修

●CVPPP（包括的暴力防止プログラム）
トレーナー養成コース研修　3月３日（月）～3月6日（木）4日間　研修棟 3F　[院外・院内対象]
●琉球セミナー　3月12日（水）18：00～19：00　研修棟 3F　[院外・院内対象]
『DPAT（災害派遣精神医療チーム）について（仮題）』

地域医療連携室だより

・活動状況　当院クロザピン症例は100例を超え、他病院から紹介された患者さんも病状が良くなって退院し、地域で生活出来る状態まで改善している方が多くいます。長期入院で現在の治療ではなかなか改善せず退院促進で困っている担当精神保健福祉士や、クロザピンについてのお問い合せなどは、お気軽に地域医療連携へご連絡下さい。

空床状況　2月24日現在

精神科病棟	認知症	アルコール	児童思春期ユニット
10床	2床	10床	1床

※ 入院予約に関するお問い合せは地域医療連携室へご相談下さい。

お問い合わせ時間
8:30～17:15（土・日・祝日以外）
TEL:098－968－2133（代）
内線:231・234
FAX:098－968－7370
地域医療連携室直通

〒904－1201　沖縄県国頭郡金武町金武7958－1　http://www.hosp.go.jp/～ryukyu1/
代表電話　098－968－2133　FAX　098－968－2679
地域医療連携室　098－968－7370　FAX　098－968－7370

治療抵抗性精神疾患への医療

クロザピンの治療状況

治療抵抗性統合失調症に対して、平成22年2月に1例目の投与を開始し、全症例は105例となりました。1月の新規導入は3例でした。クロザピン専門外来も週に2回行っており、患者様のご相談をお待ちしています。

m-ECTの治療状況

当院では、県立北部病院麻酔科のご協力の下、m-ECTによる治療を行っております。平成26年1月の治療実績3例であり、各症例とも改善傾向が認められております。

こども心療科

これまで「こども広場」をこども心療科の待合室としておりましたが、面接室が足りず、診察で使用することがしばしばありました。そのため、一般外来の方と同じ待合室を利用してもらうことが増え、ご迷惑をおかけしていました。このたび、こども心療科の待合室を一般外来と分け、独立したゾーンを設けることになりました。現在、工事を行っており、4月には完成予定です。

認知症医療

＜認知症早期発見のポイントについて＞

認知症は、患者さんのご家族をはじめ、その患者さんを取り巻く地域の方々が、日常の暮らしの中で「あれ？いつもと違うな」と変化に気付き、外来受診に繋がることが多くみられます。

よく見られる変化としては、①同じことを何回も言ったり聞いたりする ②夜中に急に起きだして騒いだ ③置き忘れやしまい忘れが目立つ ④ささいなことで怒りっぽくなった、などがあります。

認知症は、早期発見と適切な治療を行うことが大切です。これらの症状を参考に、何かご質問・ご相談がありましたら、地域連携室までご連絡ください。

重症心身障がい児医療

2/17～19の3日間で、利用者のご家族・成年後見人の方と個別面談を行いました。個別面談では職員より、1年間の利用者の方の様子や経過をお伝えし、ご家族・成年後見人の方からは要望等をお聞きして、そのご希望やご意見を次年度計画へ活かします。日頃、利用者さんとの関わりは行っているものの、ご家族・成年後見人との意見交換の場は少ないため、貴重な時間となっています。また、重症心身障がい病棟は、福祉サービスの契約制度によって成立していますので、個別面談で契約更新の確認も行うようにしています。琉球病院の福祉サービスを継続して利用して頂いているという自負を持って、利用者の方へより良い医療・看護・療育・福祉を提供できるように心がけていきたいです。

アルコール・薬物依存医療

平成25年5月27日、アルコール依存症の新しい治療薬「レグテクト」が発売となりました。レグテクトは、アルコール依存症の方の強い『飲酒欲求』を直接和らげてくれる作用があります。当院では1月現在、外来通院の患者様43名、入院中の患者様18名の方が服用されています。内服している方は「飲酒欲求が軽減した」と話され、再飲酒の抑制につながっています。当院での実際の効果を判定するための調査を行う予定です。患者様へは、適宜導入をすすめています。断酒が困難な方は、ぜひ外来に受診し相談して下さい。

包括的地域精神医療（ACT）

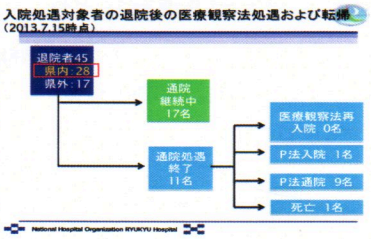
気温の差が激しく県内各地でインフルエンザの流行等があり、体調管理が厳しい日々です。訪問看護利用者の方も体調を崩す方がおり、手洗いやうがい、集団で集まる場所は控えるように説明をしています。

年度末になり、環境の変化が起こる時期でもあり、訪問看護でも利用者様の環境変化についても気遣いながら心配な事や困ることがあれば気軽に相談をするよう声かけを行なっています。

自分の思いを伝える事が苦手、対人緊張が強い等の特性がありますが、誰かに相談をしたいと思う時に医療機関だけではなく、身近な所で支援をしてもらえる方がいればさらに心強いと思います。地域連携でネットワークを作り包括的な支援体制を構築することを当院では目指しています。

臨床研究部活動状況 －臨床心理学研究室より－

2009年2月から2013年7月15日の期間に当院医療観察法病棟に入院し、退院した対象者の予後調査を実施しました。2013年7月15日までに45名(県内28名、県外17名)の対象者が退院しました。うち県内に退院した28名の対象者の転帰は、医療観察法通院処遇を継続している方が17名、医療観察法通院処遇を終了した方が11名でした。処遇を終了した方のその後について、精神保健福祉法(以下P法)による入院となった方が1名、P法通院を継続している方が9名、死亡した方が1名でした。医療観察法による再入院の方はいませんでした。死亡した方の死亡理由は就労中の不慮の事故によるものでした。このような結果から、医療観察法医療から一般精神科医療に概ねスムーズに移行し、対象者の方々に必要な医療が継続されていると考えられました。



〒904－1201　沖縄県国頭郡金武町金武7958－1　http://www.hosp.go.jp/～ryukyu1/
代表電話　098－968－2133　ＦＡＸ　098－968－2679
地域医療連携室　098－968－7370　ＦＡＸ　098－968－7370